

PIGトークンファイナンス ホワイトペーパー

バージョン：V1.0

発行日：2026年4月1日

声明：本ホワイトペーパーはPIGtoken Finance（以下「PIG」）プロジェクトのコアビジョン、技術アーキテクチャ、経済モデル、発展計画およびリスク提示を詳細に紹介するもので、プロジェクト愛好家、参加者および研究者の参考用とする。暗号資産投資には高いリスクが伴い、本ホワイトペーパーに基づく一切の決定による結果は、参加者が全責任を負うものとし、プロジェクトチームはいかなる直接的・間接的な損害賠償責任も負わない。本ホワイトペーパーの内容は、プロジェクトの発展ニーズに応じて更新・最適化される場合があり、最新バージョンは公式チャネルより発行される。

目次

1. プロジェクト概要
2. プロジェクトの背景と業界の課題
 - 2.1 業界背景
 - 2.2 コア課題
3. プロジェクトビジョンとコアバリュー
 - 3.1 プロジェクトビジョン
 - 3.2 コアバリュー
4. 技術アーキテクチャ
 - 4.1 基盤公鎖の選定
 - 4.2 スマートコントラクトアーキテクチャ
 - 4.3 コア技術上の優位性
5. トークン経済モデル（トークノミクス）
 - 5.1 トークンの基本情報
 - 5.2 取引手数料と配分メカニズム
 - 5.3 デフレメカニズム
 - 5.4 トークンの用途
6. コミュニティガバナンス
 - 6.1 ガバナンス理念
 - 6.2 ガバナンス主体と権限
 - 6.3 ガバナンスモデル：デセントラライズドコンセンサス（DAOガバナンス）

7. 発展ロードマップ
 - 7.1 第1フェーズ：基盤整備期（2026年1月～2026年6月）
 - 7.2 第2フェーズ：エコシステム拡張期（2026年7月～2026年12月）
 - 7.3 第3フェーズ：エコシステム成熟安定期（2027年1月以降）
8. セキュリティ保障
 - 8.1 コントラクトセキュリティ
 - 8.2 流動性セキュリティ
 - 8.3 情報セキュリティ
 - 8.4 リスク緊急対応メカニズム
9. リスク提示
10. 法的声明
11. 連絡先

1. プロジェクト概要

PIGtoken Financeはバイナンススマートチェーン（Binance Smart Chain, BSC）を基盤に構築された、デセントラライズドかつコミュニティドライブ型の暗号トークンプロジェクトで、コアポジショニングは「デフレ型価値共生エコシステム」である。革新的な「ブラックホール」デフレアルゴリズムと自動配当メカニズムを依拠し、信頼不要・仲介不要・自循環するデセントラライズドファイナンス（DeFi）マイクロエコシステムを構築する。PIGは従来の暗号プロジェクトのセントラライズド管理モデルを廃し、公式チームによる留保分を設けず、すべての意思決定はコミュニティのコンセンサスに基づいて推進される。金融の壁を打ち破り、グローバルユーザーに公正かつ透明的、持続可能なパッシブインカムルートとデセントラライズドな資産配分選択肢を提供することを目指す。

本プロジェクトは「コードを憲法とし、取引を投票権とし、配当を権利とし、デフレを規律とする」をコアコンセプトとし、各取引の手数料配分と流動性ロックメカニズムを通じて、トークン価値の持続的な蓄積とエコシステムの自己強化的発展を実現し、最終的にコミュニティ主導の、多方面が互恵的利益を享受し、長期的に持続可能なDeFiエコシステムを構築する。

2. プロジェクトの背景と業界の課題

2.1 業界背景

ブロックチェーン技術の急速なイテレーションに伴い、デセントラライズドファイナンス（DeFi）は暗号資産業界のコアトラックとなり、伝統的金融のサービスモデルを根本的に変革し、資産のデセントラライズドな移転、価値増殖およびガバナンスを実現した。バイナンススマートチェーン（BSC）は高スループット、低ガス料金、EVM互換性などの優位性を備えることから、DeFiプロジェクトのコアキャリアプラットフォームとなり、膨大な開発者とユーザーの参加を誘引し、充実したエコシステムクローズドループを形成した。

だが、現時点のDeFi分野には依然として多くの課題が存在する。大半のプロジェクトにはセントラライズドコントロール、トークンの過度なインフレ、ユーザー収益の不安定性、流動性の脆弱性、セキュリティリスクの顕在化などの問題が見られ、それによりユーザーの信頼度が低下し、プロジェクトの長期的かつ持続可能な発展が実現困難となっている。この背景のもと、PiGtoken Financeが誕生し、業界の課題に焦点を当て、革新的な技術と経済モデルを依托し、ユーザーにより安全かつ公正、価値の高い暗号資産選択肢を提供する。

2.2 コア課題

- セントラライズドリスク：大半の暗号プロジェクトには、チームによるトークンの裏留保、規則の恣意的な改定、悪質な相場操作などの行為が見られ、ユーザーの資産安全は保障されず、デセントラライズドの理念に著しく背く。
- インフレによる価値希釈：従来のトークンは多くが無制限増発モデルを採用し、トークン供給量の増加に伴い、ユーザーの保有するトークン価値は持続的に希釈され、長期的な価値保全・増殖が実現困難となる。
- 収益メカニズムの低効率：一部のプロジェクトの配当・マイニングメカニズムは複雑で、ユーザーは手動操作で参加する必要があり、インタラクションの摩擦が大きい。また収益源が不安定で、市場の変動の影響を受けやすい。
- 流動性不足：多くのプロジェクトには効果的な流動性ロックメカニズムが欠け、「ラグプル（詐欺的撤退）」のリスクが発生しやすく、ユーザーが正常に取引・換金できなくなる。
- コミュニティ参加度の低下：プロジェクトの意思決定はチームが主導し、コミュニティユーザーは発言権を欠き、プロジェクトの長期的発展を推進するための総合力を形成しにくい。

3. プロジェクトビジョンとコアバリュー

3.1 プロジェクトビジョン

PIGtoken Financeのコアビジョンは、「デセントラライズド、デフレ型、コミュニティセルフガバナンス」なDeFiエコシステムを構築することである。セントラライズド金融の独占状態を打ち破り、すべてのユーザーが暗号資産の価値創造と配分に公正に参加できるようにし、「トークン保有=収益獲得、参加=ガバナンス権行使」のエコシステム目標を実現し、DeFi業界の規範化・持続可能な発展を推進する。

3.2 コアバリュー

- デセントラライズドセルフガバナンス：公式チームによる留保分を設けず、スマートコントラクトの所有権は放棄済み。すべての意思決定はコミュニティのコンセンサスにより決定され、プロジェクトの公正性、透明性および長期的安定性を確保する。
- デフレによる価値保全・増殖：「機能的デフレ+価値還流」のデュアルドライブモデルを採用し、取引手数料の消却と流動性ロックを通じて、流通供給量を持続的に削減し、トークンの希少性と価値を高める。
- パッシブインカムの利便性：ユーザーは手動操作を必要とせず、PIGトークンを保有するだけで自動的に取引配当を受け取れ、参加のハードルを低下させ、資金の使用効率を高める。
- 安全性と信頼性：スマートコントラクトは複数回の監査を経て、多重セキュリティメカニズムを採用。流動性はデセントラライズド取引所にロックされ、「ラグブル」などのセキュリティリスクを効果的に防ぐ。
- コミュニティによる共創・共有：コミュニティはプロジェクトのコアドライバーであり、ユーザーはトークン保有を通じてガバナンスに参加・提言を行い、プロジェクト発展に伴う価値配当を共有できる。

4. 技術アーキテクチャ

4.1 基盤公鎖の選定

PIGtoken Financeはバイナンススマートチェーン（BSC）を基盤公鎖として選定した。そのコア理由は、BSCが高スループット（約1000 TPS）、低ガス料金（1回の取引コストは数米セントのみ）、EVM互換性などの優位性を備え、PIGトークンの取引、配当、流動性ロックなどのコア機能を完全にサポートできると同時に、主流のDeFiツールやウォレットと互換性があり、ユーザーに利便性の高い参加体験を提供することにある。

BSCのPoSA（株式保有による権限証明）コンセンサスメカニズムは、デセントラライズ化と効率性を両立し、ネットワークの安全性と安定性を確保し、PIGエコシステムの長期的運用に堅牢な技術的サポートを提供する。

4.2 スマートコントラクトアーキテクチャ

PIGスマートコントラクトはSolidity 0.8.xバージョンに基づいて開発され、OpenZeppelin ERC-20規格を継承・拡張し、モジュール式デザインを採用している。コアには5つのコントラクトモジュールが含まれ、機能の分離と連携を実現し、コントラクトの安全性と拡張性を高める。

- PIGTokenメインコントラクト：コアコントラクトで、トークンの発行、送金、取引手数料の計算、配当の配分などの基礎機能を担当。BEP-20規格を厳格に遵守し、BSCエコシステムとの互換性を確保する。
- TaxDistributor（手数料配分コントラクト）：各取引の5%手数料の配分を処理。其中3%はLPプールに注入され流動性が自動的に増強され、2%は保有量の割合に応じてすべてのユーザーウォレットアドレスにエアドロップされ、収益の自動配分を実現する。
- LiquidityLocker（流動性ロックコントラクト）：タイムロックメカニズムを通じて初期流動性をロックし、プロジェクト側による悪質な流動性引き出しを防止し、ユーザーの取引安全を保障し、根本的に「ラグプル」のリスクを根絶する。
- RewardAccumulator（収益積立コントラクト）：取引手数料の配当を持続的に積立し、ブロック高または時間周期に基づく決済に対応し、配分計算の正確性とタイムリネスを確保する。
- GovernanceProxy（ガバナンスプロキシコントラクト）：軽量のDAOガバナンスインターフェースで、成熟したDAOガバナンスモジュールを予約設定し、トークン保有ユーザーが提言の発起、投票、パラメータのアップグレードを行うことを許可し、コミュニティセルフガバナンスを実現する。

4.3 コア技術上の優位性

- セキュリティ保護：SafeMath代替案、リエントランシーガード（再入攻撃防止）、ポーズブルメカニズム（一時停止機能）、所有権分離などのセキュリティベストプラクティスを全面的に導入。コントラクトは専門的な監査を経て、重大なセキュリティホールの不存在を確保する。
- 自動複利収益：時間加重平均残高（TWAPベースの残高追跡）とブロック報酬カウンターを内蔵し、配当の自動決済と再投資を実現し、正のフライホイール効果を形成し、ユーザーの長期収益を高める。
- インパーマネントロスなし：収益はプロトコル内発生の手数料に由来し、外部資産のペアリングに依存しない。ユーザーは流動性マイニングに伴うインパーマネントロスのリスクを心配する必要がなく、「損失なしの収益」を実現する。
- オープンソースかつ追跡可能：スマートコントラクトのコードはGitHubで公開され、BscScanにて検証完了。すべての取引とコントラクト操作はチェーン上で照会可能で、プロジェクトの透明性を確保する。

- ガス料金の最適化：冷温ストレージの分離、unchecked加算法などのガス料金最適化テクニックを採用し、ユーザーの取引コストを低下させ、インタラクション体験を高める。

5. トークン経済モデル（トークノミクス）

5.1 トークンの基本情報（2026年3月30日時点）

プロジェクト名	PIGtoken Finance	トークン記号	PIG
基盤公鎖	バイナンススマートチェーン（BSC）	トークン規格	BEP-20
総発行量	1000兆枚 (1,000,000,000,000,000)	流通量 (ブラックホールアドレスロック分除く)	403.30兆枚（留保分なく、全量流通）
少数桁数	9桁	スマートコントラクトアドレス	0x8850d2c68c632e3b258e612abaa8fada7e6958e

発行日	2021年2月26日	発行方式	フェアランチ、プレセールなし、チーム留保なし
-----	------------	------	------------------------

5.2 取引手数料と配分メカニズム

PIGトークンの各取引（送金、売買）には5%の手数料が課金され、手数料は固定割合で配分され、「流動性強化+ユーザー配当」の二重目標を実現する。具体的な配分割合は以下の通り。

- 3% 流動性注入：手数料の3%はBNB/PIGペア形式でPancakeSwap V2流動性プールに注入され、自動増枠メカニズムを通じて市場の深度と価格安定性を高める。同時に流動性をトークン価値の長期的なアンカーポイントとする。
- 2% ユーザー配当：手数料の2%はユーザーのトークン保有割合に基づき、残高スナップショットによりすべてのユーザーウォレットアドレスに自動配分される。ユーザーは主动的な請求を必要とせず、毎回の送金時に過去の未受取配当が自動的に決済され、パッシブインカムを実現する。

注：手数料の配分は全程スマートコントラクトにより自動実行され、人的な介入はなく、配分の公正性、透明性および高効率性を確保する。

5.3 デフレメカニズム

PIGは「機能的デフレ+価値還流」のデュアルデフレモデルを採用し、従来のトークン消却モデルとは異なり、以下の方式を通じて流通量の持続的な削減と価値の蓄積を実現する。

- 流動性ロックによるデフレ：取引手数料の3%が流動性プールに注入された後、タイムロックメカニズムにより長期的にロックされ、引き出し不能となる。これは事実上トークンの「消却」を実現し、流通供給量を削減するものとなる。
- 価値還流によるデフレ：ユーザーのトークン保有配当が持続的に行われるに伴い、一部のユーザーはPIGトークンを長期保有することを選択し、市場でのトークン流通を減少させ、「保有期間が長いほど、収益が多い」という正の循環を形成し、トークンの希少性をさらに高める。

このデフレメカニズムはインフレに対して効果的に対抗し、トークン価値の長期的かつ着実な高まりを推進し、「デフレ=価値増殖」のエコシステム目標を実現する。

5.4 トークンの用途

- パッシブインカム：PIGトークンを保有するだけで自動的に取引手数料の配当を受け取れ、保有数量が多いほど、保有期間が長いほど収益は高くなる。

- コミュニティガバナンス：トークン保有ユーザーはプロジェクトの提言、投票などのガバナンス活動に参加でき、1枚のPIGトークンは1票の投票権に対応し、プロジェクトの発展方向、パラメータ調整などのコア事項を決定する。
- 流動性マイニング：ユーザーはPIGトークンを流動性プールに注入し、損失なしの流動性マイニングに参加し、追加のPIG配当報酬を獲得できる。
- エコシステム決済：今後、段階的にPIGトークンのアプリケーションシーンを拡張し、エコシステム内の各種サービス・製品における支払い・決済に対応させ、トークンの実質的なアプリケーション価値を高める。

6. コミュニティガバナンス

6.1 ガバナンス理念

PIGtoken Financeは「コミュニティセルフガバナンス、デセントラライズド」のガバナンス理念を堅持し、コミュニティをプロジェクトのコアアセットとみなす。コミュニティの発展に関する意思決定はすべてコミュニティメンバーにより共同で決定され、プロジェクトの発展が全ユーザーの利益に合致することを確保する。プロジェクトはセンタライズドな管理チームを設けず、コントラクトの所有権は放棄済みで、徹底的に「オーナーレスコントラクト」を実現し、根本的にセンタライズドコントロールのリスクを根絶する。

6.2 ガバナンス主体と権限

ガバナンス主体はPIGトークンを保有するすべてのユーザーである。各トークン保有ユーザーは各自のプロジェクトを開発・発展させることができ、それによりプロジェクトの宣伝と普及の効果を達成する。

6.3 ガバナンスモデル：デセントラライズドコンセンサス（DAOガバナンス）

6.3.1 安全性と柔軟性のバランス

Pig Financeは**「基盤層の固定化＋上位層のガバナンス」**という独自のモデルを採用している。

- 基盤層の固定化：コアスマートコントラクトの所有権は放棄済み（譲渡不可）で、これは5%の取引手数料、3%の流動性ロック、2%の保有配当の割合が永久に改変不能であることを意味する。これにより投資家に最高レベルのセキュリティ保障を提供し、人的に規則を改変するリスクを根絶する。
- 上位層のガバナンス：基盤層のロジックはロックされているものの、コミュニティはDAO（デセントラライズド自治組織）を通じて、エコシステムの発展方向、マーケティング資金の使用、新機能の統合に関して最終的な決定権を有する。

6.3.2 ガバナンスの範囲

トークン保有者（ガバナンス利害関係者）は提言と投票を通じて、以下の意思決定に参加できる。

- マーケティング予算の配分：コミュニティマーケティングウォレットの資金投下ルートとパートナーを投票で決定する。
- エコシステムの拡張：PIG NFTマーケット、PIG貸付プロトコルまたはその他の第2期派生製品の立ち上げの是非を決定する。
- クロスチェーン拡張：PIGプロトコルを公式ブリッジを通じてイーサリアムやソラナなどの他の公鎖に拡張する是非を投票で決定する。
- 戦略的買い戻し：コミュニティの剰余資金を活用して二次市場での買い戻しを行い、ブラックホールアドレスへ移管する是非を決定する。

6.3.3 投票ウェイトとプロセス

- ウェイトロジック：ガバナンス権はトークン保有量と正比例する（1 PIG=1票）。
- 意思決定プラットフォーム：Snapshot.orgを採用し、ガス料金のないオフチェーン署名投票を実施し、ガバナンスの低ハードル化と高参加度を確保する。
- 実行保障：DAOの投票により承認された意思決定は、コミュニティにより推挙された**マルチシグウォレット**管理者により監督され実行され、プロセスの公開性と透明性を確保する。

7. 発展ロードマップ

7.1 第1フェーズ：基盤整備期（2026年1月～2026年6月）

- 多言語版ホワイトペーパーの発行を完了し、グローバル市場を拡張し、海外ユーザーの参加を誘引し、プロジェクトの国際的なインフルエンスを高める。
- コミュニティインフラストラクチャを充実させ、公式ウェブサイト、Discord、Twitterなどのコミュニティチャンネルを構築し、コアユーザーの加入を誘引する。
- PancakeSwapなどのデセントラライズド取引所との連携を深化させ、PIGトークンの流動性と取引活発度を高める。
- コミュニティプロモーションキャンペーンを実施し、プロジェクトの知名度を高め、ユーザー層を拡大し、トークン保有ユーザー数50万人突破を実現する。

7.2 第2フェーズ：エコシステム拡張期（2026年7月～2026年12月）

- コミュニティガバナンスプラットフォームを上陸させ、提言、投票などのガバナンス機能を充実させ、コミュニティセルフガバナンスの全面的な実現を図る。

- PIGトークンのアプリケーションシーンを拡張し、第三者のDeFiプロジェクト、NFTプラットフォームと連携し、PIGトークンによる支払い、質押などの機能に対応させる。
- 損失なしの流動性マイニング製品を発売し、ユーザーに更多の収益ルートを提供し、トークンの保有価値をさらに高める。

7.3 第3フェーズ：エコシステム成熟安定期（2027年1月以降）

- エコシステム体系を最適化し、PIGトークンに基づく更多のDeFi製品を発売し、完全なエコシステムクローズドループを構築する。
- 成熟したDAOガバナンスメカニズムを導入し、コミュニティガバナンスの専門化・規範化を実現し、ガバナンス効率を高める。
- PIGトークンのコンプライアンスな発展を推進し、グローバルな規制当局と積極的に連携し、プロジェクトの長期的かつ持続可能な運用を確保する。
- エコシステム価値の全面的な高まりを実現し、PIGをBSCエコシステム内に核心的なインフルエンスを持つデフレ型トークンとし、ユーザーに長期的かつ安定的な価値リターンを創出する。

8. セキュリティ保障

8.1 コントラクトセキュリティ

PIGスマートコントラクトはSolidity 0.8.xバージョンに基づいて開発され、業界のセキュリティ規格を厳格に遵守し、リエントランシーガード、ポーズブルメカニズム、安全な計算などの保護措置を全面的に導入し、再入攻撃、オーバーフロー攻撃などの一般的なセキュリティリスクを効果的に防ぐ。同時に、コントラクトは専門的な第三者監査機関による全面的な監査を経て、監査レポートは公式チャンネルで公開され、重大なセキュリティホールの不存在を確保する。

8.2 流動性セキュリティ

初期流動性は全量PancakeSwap V2に注入され、LiquidityLockerコントラクトにより永久的にロックされている。プロジェクト側は流動性を引き出すことができず、根本的に「ラグプル」のリスクを根絶し、ユーザーの取引安全と資産安全を保障する。

8.3 情報セキュリティ

プロジェクトの公式チャンネル（ウェブサイト、コミュニティ、ソーシャルプラットフォーム）はいずれも暗号化技術を採用し、ユーザーの情報と取引データの安全を保障する。同時に、公式チャンネルに対して定期的なセキュリティ検査とメンテナンスを実施し、ネットワーク攻撃、情報漏洩などのリスクを防ぎ、プロジェクト情報の真実性と安全性を確保する。

8.4 リスク緊急対応メカニズム

充実したリスク緊急対応メカニズムを構築し、専門的なセキュリティチームを組織し、コントラクトの運用状態と市場動向をリアルタイムで監視する。セキュリティホール、異常取引またはその他のリスクイベントが発見された場合、直ちに緊急対応プランを発動し、関連機能を一時停止、ホールを修復すると同時に、コミュニティユーザーに速やかに公示し、ユーザーの損失を最小限に抑える。

9. リスク提示

暗号資産投資には極めて高いリスクが伴う。PIGtoken Financeプロジェクトに参加する前に、以下のリスクを十分に理解し、慎重に投資決定を行うこと。

- 市場リスク：暗号資産市場の変動は激しく、PIGトークンの価格は政策、市場ムード、資金フローなどの多くの要因の影響を受け、大幅な高値騰落が発生する可能性があり、投資家は重大な損失に直面する可能性がある。
- 技術リスク：スマートコントラクトは監査を経ているものの、依然として潜在的なセキュリティホール、技術障害またはハッカー攻撃が存在する可能性があり、それによりユーザーの資産損失が発生する可能性がある。
- 政策リスク：グローバル各国の暗号資産に対する規制政策は絶えず変化し、暗号資産取引の禁止、トークン流通の制限などの政策が発出される可能性があり、プロジェクトの正常な運用とトークン価値に影響を与える。
- 流動性リスク：プロジェクトは初期流動性をロックしているものの、市場が極端な状況に陥った場合、流動性不足が発生する可能性があり、ユーザーがトークンをタイムリーに換金できなくなる。
- ガバナンスリスク：コミュニティガバナンスの過程において、提言にコンセンサスが形成できない、悪質な提言が提出されるなどの状況が発生する可能性があり、プロジェクトの発展スケジュールと方向に影響を与える。

特別注意：本プロジェクトはいかなる投資リターンも保証しない。すべての投資決定は投資家自身によって行われ、投資家は投資に伴うすべてのリスクを自ら負う。暗号資産投資を理性的に看待し、自身の能力に応じて投資を行うこと。

10. 法的声明

1. 本ホワイトペーパーは単なるプロジェクト紹介であり、いかなる投資助言、融資申込または保証を構成するものではない。投資家は本ホワイトペーパーを投資決定の唯一の根拠としてはならない。

2. PIGtoken Financeプロジェクトはグローバル各国の関連法令を厳格に遵守する。
ユーザーの所在する地域において暗号資産取引が禁止されている場合、本プロジェクトに参加してはならない。
3. 本プロジェクトへの参加により発生したいかなる損失も、参加者が自ら負うものとし、プロジェクトチーム、コミュニティおよび関連パートナーはいかなる直接的・間接的な損害賠償責任も負わない。
4. 本ホワイトペーパーの内容は、プロジェクトの発展ニーズに応じて更新・修正される場合があり、最新バージョンは公式チャンネルより発行されるので、ご注目ください。

11. 連絡先

- 公式ウェブサイト：www.pigtoken.finance
- 公式連絡先：info@pigtoken.finance
- GitHub：<https://github.com/pigtokenfinance/contracts>
- Twitter：https://twitter.com/Pig_Finance
- Telegram：<https://t.me/PigTokenBSC>
- スマートコントラクトアドレス：
0x8850d2c68c632e3b258e612abaa8fada7e6958e5
- スマートコントラクト照会：[https://bscscan.com/
token/0x8850d2c68c632e3b258e612abaa8fada7e6958e5](https://bscscan.com/token/0x8850d2c68c632e3b258e612abaa8fada7e6958e5)

PIGtoken Finance チーム

2026年4月1日